

平成21年1月30日

各 位

上場会社名 東急リパブル株式会社
 代表者 代表取締役社長 袖山 靖雄
 (コード番号 8879)
 問合せ先責任者 取締役執行役員経営管理本部長 渡辺 和雄
 (TEL 03-3463-3713)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	65,700	2,000	2,000	950	19.79
今回発表予想(B)	55,100	970	970	330	6.88
増減額(B-A)	△10,600	△1,030	△1,030	△620	――
増減率(%)	△16.1	△51.5	△51.5	△65.3	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	68,085	9,644	9,733	5,702	118.80

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	59,300	1,200	1,350	600	12.50
今回発表予想(B)	48,755	180	330	40	0.83
増減額(B-A)	△10,545	△1,020	△1,020	△560	――
増減率(%)	△17.8	△85.0	△75.6	△93.3	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	64,021	9,380	9,564	5,463	113.81

修正の理由

国内不動産流通市場は、不動産投資関連市場に回復の兆しが見られず、また実需不動産取引においても景気悪化と先行き懸念により消費者の購入意欲が低下するなど、事業環境が大幅に悪化しております。

このような事業環境の下、当社グループの当第3四半期の業績は売買仲介業において、リテール及びホールセールともに、特に不動産業者を対象顧客とした仲介取引が大幅に減少いたしました。

また不動産販売業において、短期回転型の買取再販事業の拡大を計画しておりましたが、販売環境の悪化を踏まえ、物件取得に際し、厳選して対応した結果、取得物件数が大幅に計画を下回りました。

今般、主力の売買仲介業において、より一層の対応力の強化を図るとともに、各事業において、営業原価削減等の取り組みを行っておりますが、通期の営業収益及び利益が減少する見込みであり、平成20年10月31日発表の業績予想を修正いたしました。

なお、配当につきましては、平成20年10月31日に公表いたしました予想に変更はありません。

以 上